

# 海陽町の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

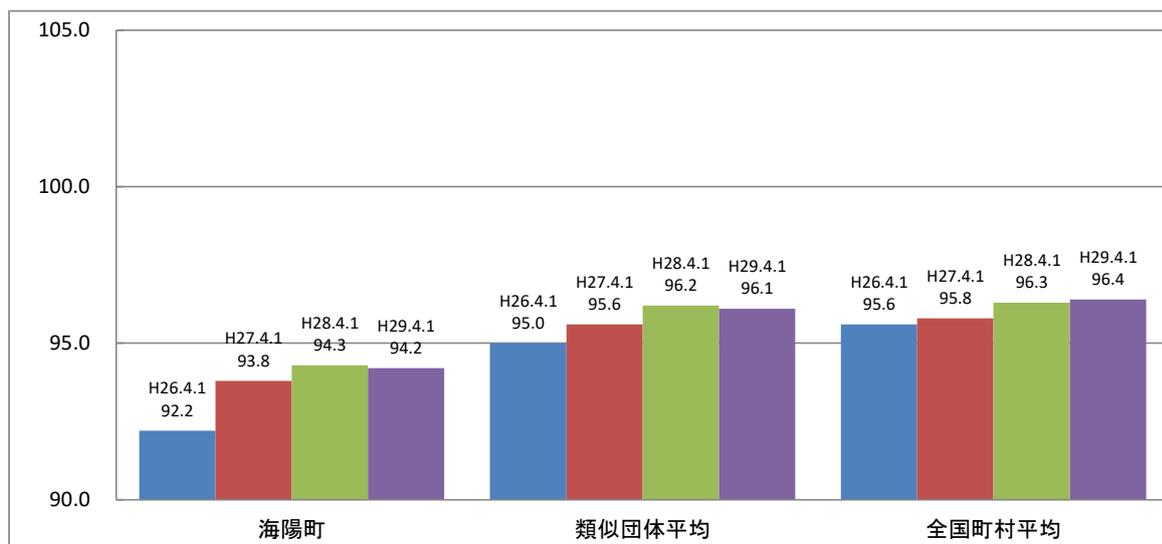
区 分	住民基本台帳人口 (平成29年1月1日)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B/A	(参考) 27年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
平成28年度	9,851	8,209,303	296,103	879,785	10.7	10.7

### (2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	102	368,695	50,043	138,324	557,062	5,461	5,539

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成28年4月1日現在の人数である。

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは全地方公共団体の一般行政職の給与月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職棒給表(一)適用職員の棒給月額を100として計算した指数。  
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※平成29年4月1日のラスパイレス指数が、[1]3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、[2]3年連続で上昇している場合、[3]100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

[1]経験年数階層の変動、職種区分間の人事異動による影響

#### (4) 給与制度の総合的な見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的な見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

##### ①給料表の見直し

実施  未実施 ]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由)

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 国の見直し内容と同様、平均2%の引下げを実施。激減緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

##### ②地域手当の見直し

(支給割合)国基準0%に対し、海陽町においても0%

##### ③その他見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成29年4月1日現在)

#### ①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
海陽町	42.8 歳	307,600 円	357,373 円	330,881 円
徳島県	44.5 歳	339,657 円	434,651 円	372,691 円
国	43.6 歳	330,531 円	— 円	410,719 円
類似団体	41.5 歳	304,873 円	351,608 円	329,655 円

#### ②技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均月収額 (B)	A/B
海陽町	56.5 歳	7 人	294,400 円	304,600 円	301,386 円	—	—	—	—
うち調理員	* 歳	2 人	* 円	* 円	* 円	調理士	46.5 歳	239,500 円	—
うち庁務員	57.4 歳	3 人	297,100 円	303,500 円	301,433 円	用務員	55.1 歳	207,300 円	1.46
うち運転手	* 歳	1 人	* 円	* 円	* 円	運転手	56.6 歳	248,800 円	—
徳島県	55.4 歳	56 人	361,550 円	398,024 円	378,957 円	—	—	—	—
国	50.6 歳	2,722 人	286,833 円	— 円	328,360 円	—	—	—	—
類似団体	49.5 歳	5 人	277,478 円	298,465 円	288,438 円	—	—	—	—

区分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
海陽町	—	—	—
うち調理員	* 円	3,392,400 円	—
うち庁務員	4,975,900 円	2,818,600 円	1.77
うち運転手	* 円	3,475,900 円	—

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成26～28年の3ヶ月の年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

※個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、当該箇所をアスタリスク(\*)としている。

#### ③教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
海陽町	39.3 歳	288,600 円	307,625 円
徳島県	45.4 歳	376,240 円	416,342 円
類似団体	41.1 歳	295,595 円	323,564 円

(注)1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況(平成29年4月1日現在)

区 分		海陽町	徳島県	国
一般行政職	大学卒	167,600 円	184,800 円	178,200 円
	高校卒	146,100 円	150,500 円	146,100 円
技能労務職	高校卒	143,500 円	148,200 円	- 円
	中学卒	135,500 円	139,400 円	- 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(平成29年4月1日現在)

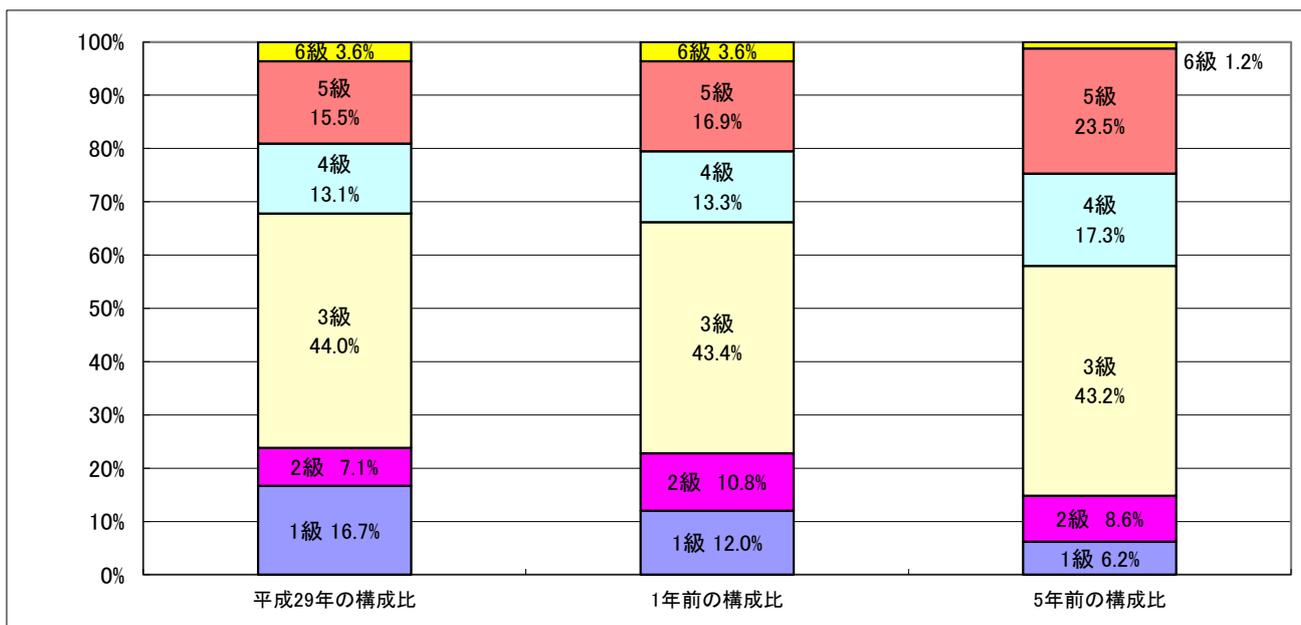
区 分		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満
一般行政職	大学卒	258,800 円	303,190 円	336,045 円	378,200 円
	高校卒	- 円	255,466 円	308,640 円	330,760 円
技能労務職	高校卒	- 円	- 円	- 円	- 円
	中学卒	- 円	- 円	- 円	- 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(平成29年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6 級	参事	3 人	3.6 %
5 級	課長・主幹・補佐	13 人	15.5 %
4 級	補佐・主査	11 人	13.1 %
3 級	主査	37 人	44.0 %
2 級	主事	6 人	7.1 %
1 級	主事・主事補	14 人	16.7 %

- (注) 1 海陽町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ 統合)

(2) 昇給への人事評価の活用状況

平成29年4月2日から平成30年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している				
活用している昇給区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分				
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ(一律)				
ロ 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	未定		未定	

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

海陽町	徳島県	国
1人当たり平均支給額(平成28年度) 1,330 千円	1人当たり平均支給額(平成28年度) 1,719 千円	—
(平成28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 ( - )月分 ( - )月分	(平成28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.80 )月分	(平成28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.80 )月分
(加算措置の状況) 役職加算5%~15% 管理職加算 0% 職制上の段階、職務の級等による加算措置	(加算措置の状況) 役職加算5%~20% 管理職加算 23%~25% 職制上の段階、職務の級等による加算措置	(加算措置の状況) 役職加算5%~20% 管理職加算 10%~25% 職制上の段階、職務の級等による加算措置

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況

平成29年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している				
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率				
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)				
ロ 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	未定		未定	

(2) 退職手当(平成29年4月1日現在)

海陽町			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置	
	(割増率2%~45%)			(割増率2%~45%)	
1人当たり平均支給額	12,415 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、28年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		— 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
支給対象地域なし	— %	— 人	— %

(4) 特殊勤務手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		— 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成28年度)		0.0 %	
手当の種類(手当数)		1	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症予防等作業手当	感染処理従事者	感染防疫業務	日額2,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(平成28年度決算)	18,211 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)	212 千円
支給実績(平成27年度決算)	17,640 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)	184 千円

(注)職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)である

(6) その他の手当(平成29年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成28年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)
扶養手当	配偶者10,000円、子8,000円、父母等6,500円。満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円を加算。配偶者のいない職員の扶養親族の子1人目10,000円、父母等1人目9,000円	同		12,162 千円	229,476 円
住居手当	借家 支給限度額27,000円	同		2,548 千円	231,686 円
通勤手当	通勤距離に応じ支給 2,000円～31,600円	同		4,078 千円	65,787 円
管理職手当	参事・総務課長50,000円、課長41,000円、主幹32,000円、財政補佐22,000円	異	支給区分と支給額の相違	8,829 千円	490,500 円
宿日直手当	1回4,200円	同		4,082 千円	48,148 円

## 5 特別職の報酬等の状況(平成29年4月1日現在)

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	768,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額	
	副 町 長	615,000 円	870,000 円 / 345,000 円	
報 酬	議 長	269,000 円		
	副 議 長	231,000 円	653,000 円 / 360,000 円	
	議 員	192,000 円	365,000 円 / 200,000 円	
期 末 手 当	町 長	(28年度支給割合) 2.60 月分		
	副 町 長	(28年度支給割合) 2.60 月分		
退 職 手 当	町 長	(算定方式) 768千円 × 在職月数 × 0.435	(1期の手当額) 16,035,840	(支給時期) 任期毎
	副 町 長	615千円 × 在職月数 × 0.2575	7,601,400	任期毎
備 考				

- (注)1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

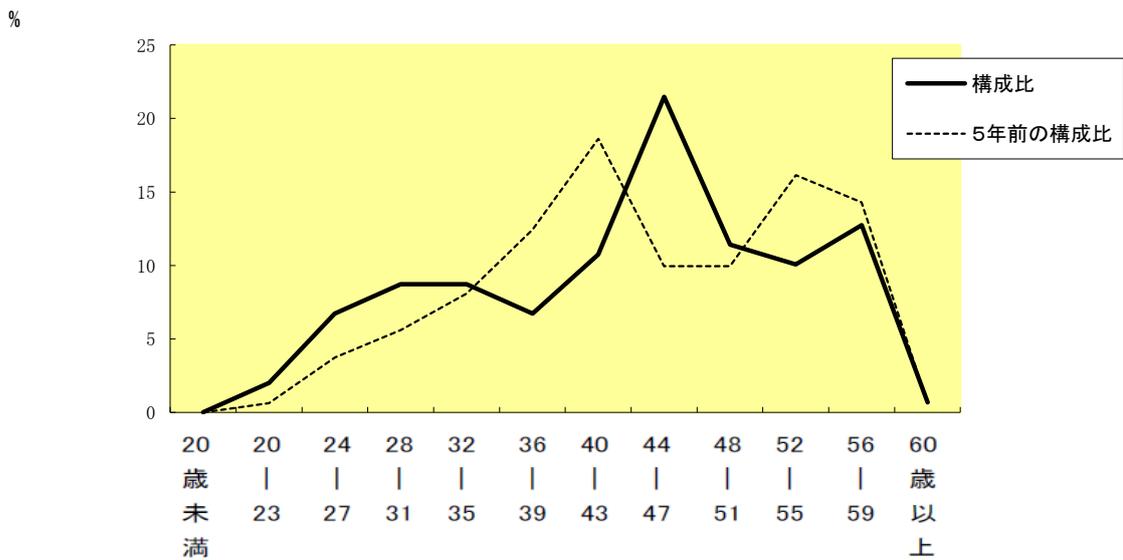
### (1)部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成28年	平成29年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議会	1	1	0	地方創生推進事業、業務増による増 欠員不補充による減
		総務	36	37	1	
		税務	6	6	0	
		福祉	27	25	△ 2	
		産業建設	9	9	0	
	計	6	6	0		
		85	84	△ 1	<参考> 人口1万人当たり職員数 85.27 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 105.60 人)	
	教 育 部 門	19	18	△ 1	欠員不補充による減	
	消 防 部 門					
	小 計	104	102	△ 2	<参考> 人口1万人当たり職員数 103.54 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 127.74 人)	
公 営 企 業 計 等 部 門	病 院	33	33	0	事務分掌見直しによる減	
	水 道	3	2	△ 1		
	下 水	4	4	0		
	其 他	8	8	0		
	小 計	48	47	△ 1		
合 計		152	149	△ 3	<参考> 人口1万人当たり職員数 151.25 人	
		[ 175 ]	[ 175 ]	[ 0 ]		

- (注)1 職員数は一般職に属する職員数である。  
 2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況(平成29年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳~23歳	24歳~27歳	28歳~31歳	32歳~35歳	36歳~39歳	40歳~43歳	44歳~47歳	48歳~51歳	52歳~55歳	56歳~59歳	60歳以上	計
職員数	0人	3人	10人	13人	13人	10人	16人	32人	17人	15人	19人	1人	149人

(3)職員数の推移

(単位:人・%)

部門 \ 年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	85	76	81	81	85	84	△1 (△1.2%)
教育	22	21	20	19	19	18	△4 (△18.2%)
消防							
普通会計	107	97	101	100	104	102	△5 (△4.7%)
公営企業等会計	54	51	52	51	48	47	△7 (△13.0%)
総合計	161	148	153	151	152	149	△12 (△7.5%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

## 7 公営企業職員の状況

### (1) 上水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成27年度の総費用に 占める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
平成28年度	107,682	16,817	8,711	8.1	8.3

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	2	6,399	287	2,025	8,711	4,356

(参考)公営企業平均 一人当たり給与費
千円 6,166

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、平成29年3月31日現在の人数である。

##### イ 特記事項

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成29年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
上下水道課	45.0 歳	352,500 円	436,859 円
公営企業平均	44.4 歳	343,701 円	513,093 円
事業者	歳		円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当を含む。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

上水道事業				海陽町(一般行政職)			
1人当たり平均支給額(平成28年度)				1人当たり平均支給額(平成28年度)			
1,012		千円		1,330		千円	
(27年度支給割合)				(27年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.60 月分		1.70 月分		2.60 月分		1.70 月分	
( - )月分		( - )月分		( - )月分		( - )月分	
(加算措置の状況) 役職加算5%~15% 職制上の段階、職務の級等による加算措置				(加算措置の状況) 役職加算5%~15% 職制上の段階、職務の級等による加算措置			

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### イ 退職手当(平成29年4月1日現在)

上水道事業			海陽町		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置		
定年前早期退職特例措置 (割増率2%~45%)			定年前早期退職特例措置 (割増率2%~45%)		
1人当たり平均支給額 - 千円			1人当たり平均支給額 12,415 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、28年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		— 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
支給対象地域なし	— %	— 人	— %

エ 特殊勤務手当(平成29年4月1日現在) ※ 該当しない

支給実績(年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(年度決算)			円
職員全体に占める手当支給職員の割合(年度)			%
手当の種類(手当数)			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価

オ 時間外勤務手当

支給実績(平成28年度決算)	227 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)	114 千円
支給実績(平成27年度決算)	354 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)	177 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当(平成29年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(平成28年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)
扶養手当	配偶者10,000円、子8,000円、父母等6,500円。満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円を加算。配偶者のいない職員の扶養親族の子1人目10,000円、父母等1人目9,000円	同	—	276 千円	276,000 円
住居手当	借家 支給限度額27,000円	同	—	25 千円	25 円
通勤手当	通勤距離に応じ支給 2,000円～31,600円	同	—	38 千円	38 円
管理職手当	参事・総務課長50,000円、課長41,000円、主幹32,000円、財政補佐22,000円	同	—	0 千円	0 円
宿日直	1回4,200円	同	—	0 千円	0 円

(2) 病院事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成27年度の総費用に 占める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
平成28年度	530,509	△ 25,748	210,975	39.8	41.6

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	34	128,299	36,497	46,179	210,975	6,206

(参考)公営企業平均 一人当たり給与費
千円 6,848

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、平成29年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成29年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
医 師	54.7 歳	535,987 円	1,120,387 円
看 護 師	44.7 歳	304,625 円	427,334 円
医療技術職	34.0 歳	257,450 円	358,720 円
事務職員	46.7 歳	348,900 円	491,920 円
公営企業平均	40.4 歳	325,098 円	566,499 円

(注)平均月収額には、期末・勤勉手当を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

病 院 事 業				海陽町(一般行政職)			
1人当たり平均支給額(平成28年度)				1人当たり平均支給額(平成28年度)			
1,358 千円				1,330 千円			
(平成28年度支給割合)				(平成28年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.60 月分	( - )月分	1.70 月分	( - )月分	2.60 月分	( - )月分	1.70 月分	( - )月分
(加算措置の状況) 役職加算5%~15% 職制上の段階、職務の級等による加算措置				(加算措置の状況) 役職加算5%~15% 職制上の段階、職務の級等による加算措置			

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当(平成29年4月1日現在)

病 院 事 業			海陽町		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置		
定年前早期退職特例措置 (割増率2%~45%)			定年前早期退職特例措置 (割増率2%~45%)		
1人当たり平均支給額 9,062 千円			1人当たり平均支給額 12,415 千円		

(注)海陽町退職手当の1人当たり平均支給額は、28年度に退職した職員に支給された平均額である。

(注)病院事業退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26~28年度の3ヶ年に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		— 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
支給対象地域なし	— %	— 人	— %

エ 特殊勤務手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		17,474 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		582,467 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成28年度)		88.2 %	
手当の種類(手当数)		6	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
放射線等検査手当	医師	放射線等の検査業務	検査1回につき診療報酬の1割の額
医療研究手当	医師	医学的研究業務	月額 院長500,000円、医師350,000円
危険手当	医師、看護師、医療技術職	勤務することにより遭遇しうる危険に伴う業務	月額 医師20,000円、看護師5,000～12,000円、医療技術職5,000円
手術手当	医師	手術(全身麻酔及び腰椎麻酔を要するものに限る)業務	手術1回につき手術料の固定点数の2割の額を施術医師の数で除した額
往診手当	医師	往診又は訪問診療での業務	往診1回につき3,250円
へき地病院医師勤務手当	医師	へき地地域で勤務する医師	月額 30,000円～100,000円

オ 時間外勤務手当

支給実績(平成28年度決算)	1,463 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)	47 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当(平成29年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(28年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(28年度決算)
扶養手当	配偶者10,000円、子8,000円、父母等6,500円。満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円を加算。配偶者のいない職員の扶養親族の子1人目10,000円、父母等1人目9,000円	同	—	2,963 千円	197,533 円
住居手当	借家 支給限度額27,000円	同	—	963 千円	240,789 円
通勤手当	通勤距離に応じ支給 2,000円～31,600円	同	—	1,040 千円	49,543 円
管理職手当	参事・総務課長50,000円、課長41,000円、主幹32,000円、財政補佐22,000円	同	—	1,613 千円	537,540 円
宿日直	医師20,000円、事務6,000円	異	—	3,814 千円	381,400 円
医師手当		異	—	1,726 千円	863,205 円
準夜深夜手当		異	—	8,404 千円	420,186 円